

取扱説明書

TAT 金属印ユニット

型番 : **TSUT-GFQMN**

Ver1.00

2020. 7

【目次】

1. 本取扱説明書で使用している警告及び注意事項と約束事について.....	3
2. 安全に関するご注意.....	3
3. 適用範囲.....	3
4. 問い合わせ先.....	3
5. 仕様.....	4～6
5-1 概要	
5-2 部品一覧	
5-3 部品ユニット構成	
5-4 機能及び基本スペック	
5-5 環境条件	
5-6 外観図	
6. 空気圧回路接続例及びブロック図例.....	7
7. 据付け.....	8
8. TAT 金属印の保存方法.....	9
9. インキの補充方法.....	10
10. カートリッジの交換方法.....	11
11. 白色系インキの注意事項.....	12
12. 溶剤の塗布方法.....	13

1. 本取扱説明書で使用している警告及び注意事項と約束事について

本マニュアルでは、機器を安全に使用していただくため、絶対にしないでいただきたいことや注意していただきたいこと、その他重要事項の説明には、次のような表示を付けています。

これらの表示の箇所は必ずお読みいただき厳守してください。

警告

取り扱いを誤った場合に、作業者が重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。
安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、障害を負う恐れや物的障害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

2. 安全に関するご注意

警告

注意事項に記載している内容は、機器の操作・保守において、特に注意を払う項目です。
これらの注意事項を守らない場合は、作業や装置に重大な危害を生じることがあります。
必ずその指示に従って取り扱って下さい。

3. 適用範囲

本製品は、シヤチハタ製 TAT 金属印に適用する。

本製品は、予告なく仕様変更される場合があります。

4. 問い合わせ先

〒451-0021 名古屋市西区天塚町4丁目69番地

シヤチハタ株式会社 営業開発課

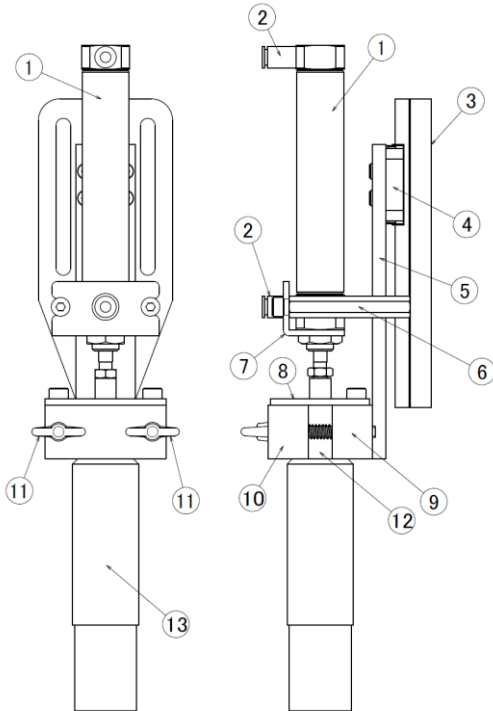
TEL 052-856-2621 FAX 052-856-5813

5. 仕様

5-1 概要

本製品は、TAT 金属印用の自動捺印ユニットです。
複動形エアシリンダを備えており、エア供給の切り替えのみで連続捺印が可能です。

5-2 部品一覧



No.	品名	仕様
1	複動形エアシリンダ	CKD 製(SCPD3-L-00-16-60)
2	ワンタッチ継手	適用チューブ径 φ4.0
3	ベース	アルミニウム
4	リニアガイド	SSEB10G-115
5	スライダー	アルミニウム
6	スペーサー	黄銅
7	シリンダブラケット	ステンレス
8	ストッパー	スチール
9	ホルダ 1	アルミニウム
10	ホルダ 2	アルミニウム
11	蝶ボルト	スチール
12	アタッチメント	ポリアセタール
13	TAT 金属印	詳細仕様による

5-3 部品ユニット構成

部品	品名	品番
ユニット部	TAT 金属印ユニット	TSUT-GFQMN
アタッチメント	TAT 金属印ユニット用アタッチメント	TSUT-GFQMN-PAT
スタンプ部	TAT 金属印 9号	GFQMN-9CA、GFQMN-9CSA
	TAT 金属印 12号	GFQMN-12CA、GFQMN-12CSA
	TAT 金属印 15号	GFQMN-15CA、GFQMN-15CSA
インキ	TAT 金属印対応の TAT インキ	インキ色: 黒、赤、藍、緑、紫、白など

5-4 機能及び基本スペック

No.	項目	仕様																																												
1	外形寸法	詳細は 5-6 外観図による																																												
2	総重量	9号…約 484g																																												
		12号…約 491g																																												
		15号…約 500g																																												
3	製品取付け方法	M5 ボルト 2箇所止め																																												
4	動作方式	複動形エアシリンダ																																												
5	使用エア圧力	0.1～0.2Mpa																																												
6	組付け可能製品	シヤチハタ製 TAT 金属印 9号、12号、15号																																												
7	連続捺印回数	インキ補充なしで 1,500 回(参考値) ※TAT 金属印ユニットの仕様による																																												
8	その他	本商品はスピードコントローラーが必須となります。 (高圧力がかかると、製品寿命が短くなります) オプションにて下記センサスイッチ(CKD 製)を取り付けることが可能です。																																												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">リード線 ストレートタイプ</th> <th rowspan="2">リード線 L 字タイプ</th> <th rowspan="2">接点</th> <th colspan="2">電圧</th> <th rowspan="2">表示</th> <th rowspan="2">リード線</th> </tr> <tr> <th>AC</th> <th>DC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T0H</td> <td>T0V</td> <td rowspan="2">有接点</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>1色表示</td> <td rowspan="2">2線</td> </tr> <tr> <td>T5H</td> <td>T5V</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>表示灯なし</td> </tr> <tr> <td>T2H</td> <td>T2V</td> <td rowspan="4">無接点</td> <td>-</td> <td>●</td> <td rowspan="2">1色表示</td> <td>2線</td> </tr> <tr> <td>T3H</td> <td>T3V</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>3線</td> </tr> <tr> <td>T2WH</td> <td>T2WV</td> <td>-</td> <td>●</td> <td rowspan="2">2色表示</td> <td>2線</td> </tr> <tr> <td>T3WH</td> <td>T3WV</td> <td>-</td> <td>●</td> <td>3線</td> </tr> </tbody> </table>	リード線 ストレートタイプ	リード線 L 字タイプ	接点	電圧		表示	リード線	AC	DC	T0H	T0V	有接点	●	●	1色表示	2線	T5H	T5V	●	●	表示灯なし	T2H	T2V	無接点	-	●	1色表示	2線	T3H	T3V	-	●	3線	T2WH	T2WV	-	●	2色表示	2線	T3WH	T3WV	-	●	3線
		リード線 ストレートタイプ				リード線 L 字タイプ	接点			電圧		表示	リード線																																	
			AC	DC																																										
		T0H	T0V	有接点	●	●	1色表示	2線																																						
		T5H	T5V		●	●	表示灯なし																																							
		T2H	T2V	無接点	-	●	1色表示	2線																																						
		T3H	T3V		-	●		3線																																						
T2WH	T2WV	-	●		2色表示	2線																																								
T3WH	T3WV	-	●			3線																																								
センサのリード線長さは 1m、3m、5mの中から選定できます。																																														

※ 連続捺印条件

捺印対象物: PET フィルム

インキ: M-99N 白

捺印サイクル: *45 秒/回

試験環境: 気温 20°C 湿度 65%

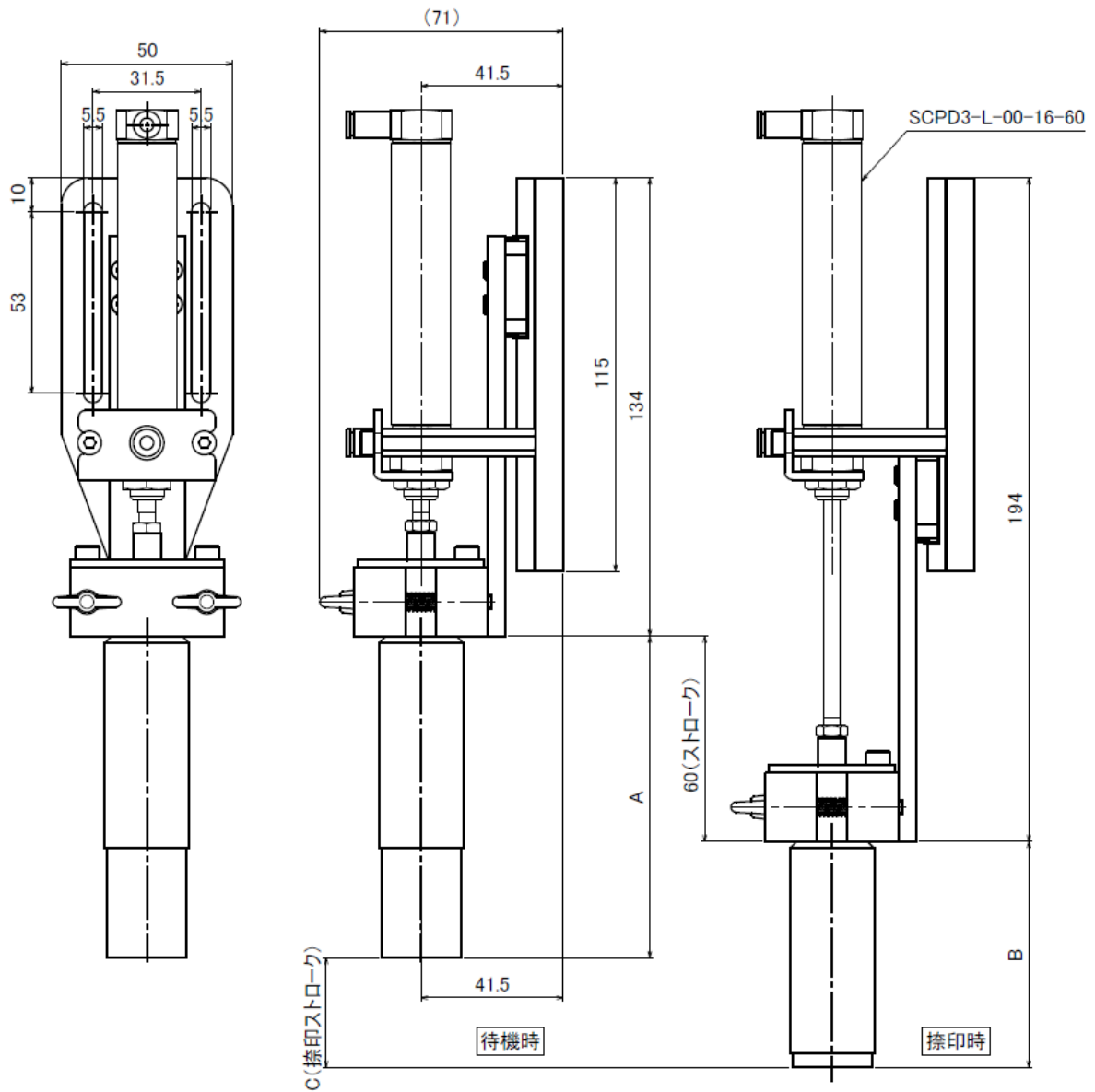
捺印状態: 垂直下向き捺印

※ 印面の内容、ご使用するインキ、使用環境によって、連続印字ができる回数は変わります。

5-5 環境条件

環境	条件
周囲温度	5～40°C
雰囲気	腐食性ガス、爆発性ガス、塵埃のないこと、結露なきこと

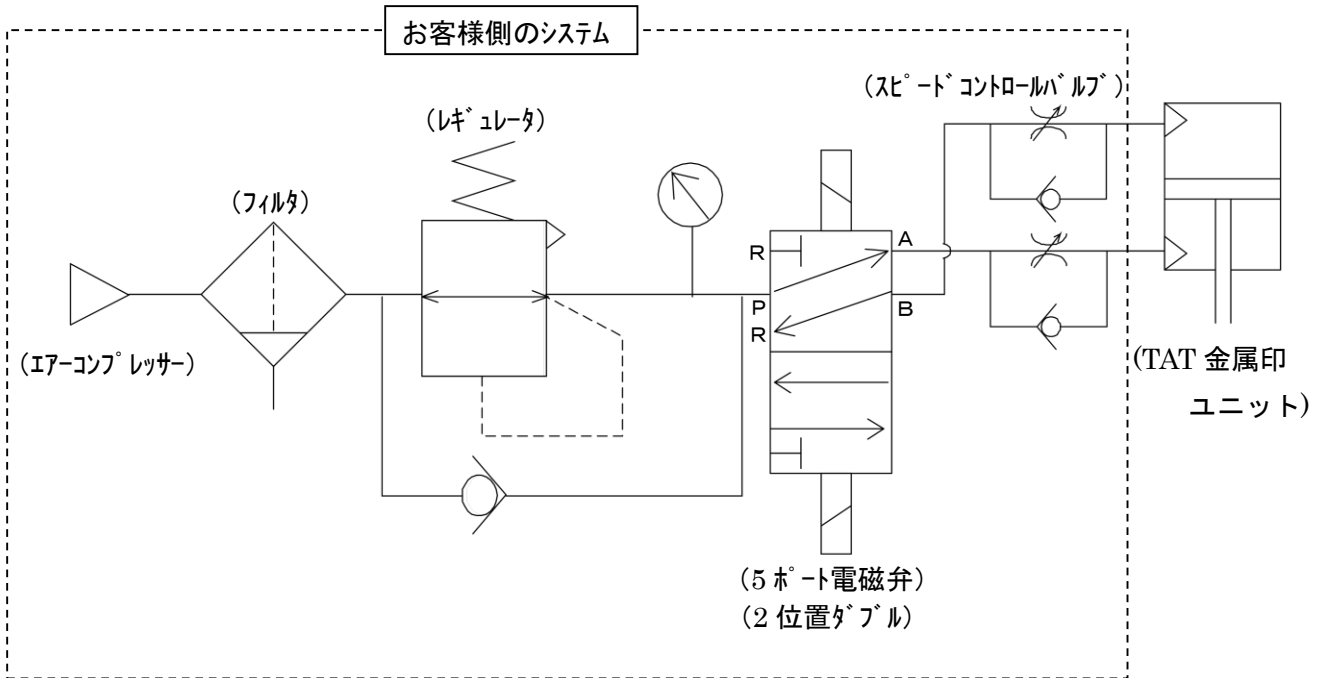
5-6 外観図



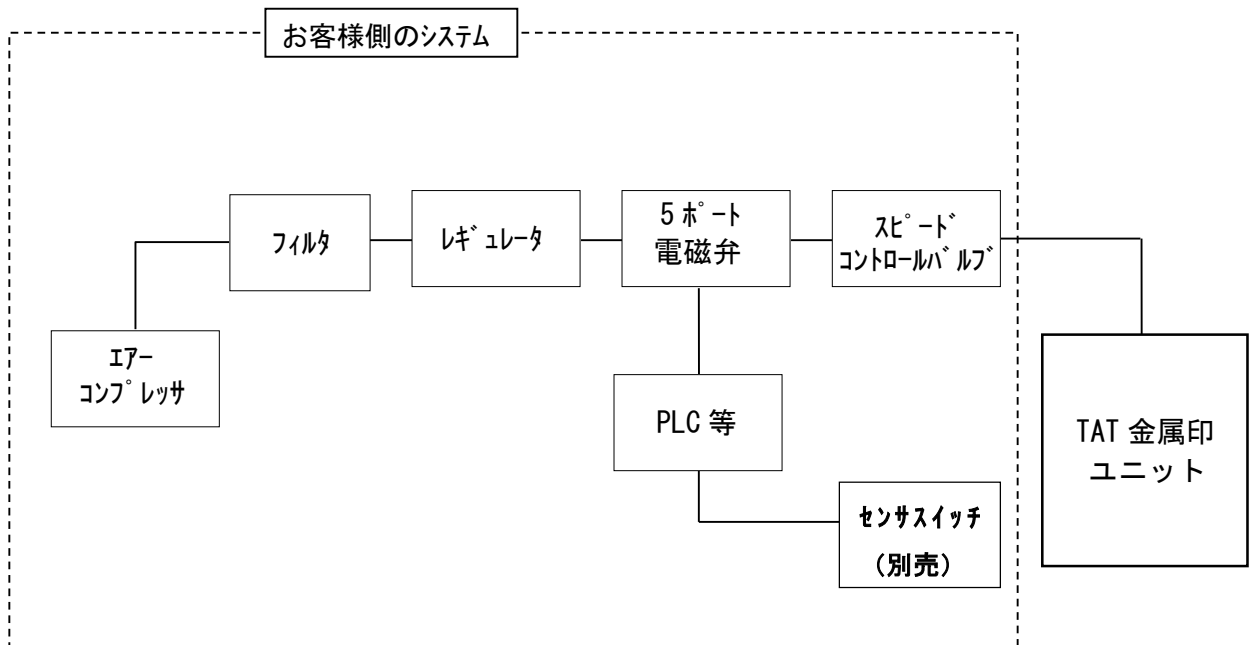
	A	B	C
TAT 金属印ユニット 9号	90	64	34
TAT 金属印ユニット 12号	93	65	32
TAT 金属印ユニット 15号	94	66	32

6. 空気圧回路接続例及びブロック図例

【空気圧回路接続例】

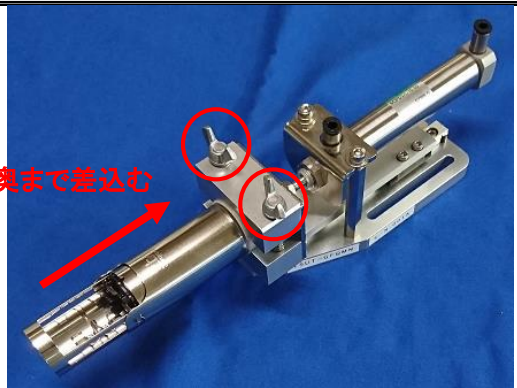
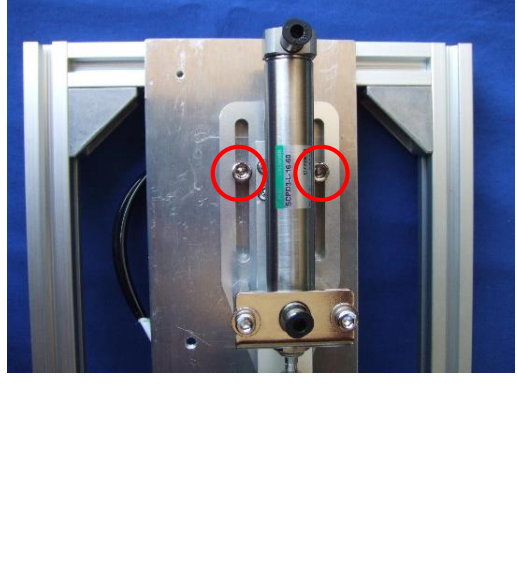


【ブロック図例】



7. 据付け

手順	図	説明
1		<p>TAT 金属印の上部キャップを取り外します ※工具は必要なく、手で回転させると外せます</p>
2		<p>外した TAT 金属印の上部キャップにアタッチメントを取り付けます ※使用する工具は「対辺 3.0mm の六角レンチ」です</p>
3		<p>アタッチメントを取り付けると、左図のようになります</p>
4		<p>アタッチメントを取り付けたキャップを TAT 金属印に取り付けます</p>
5		<p>蝶ボルトを 2 本緩めます</p>

<p>6</p>		<p>TAT 金属印ユニットを奥まで差し込み、蝶ボルトを2本締めます</p>
<p>注意 蝶ボルトは左右均等に締めて下さい。 TAT 金属印が斜めに取付き正常に捺印できない可能性があります。</p>		
<p>7</p>		<p>M5 ボルト 2 本にて締め付けてください ※使用する工具は「対辺 4.0mm の六角レンチ」です</p> <p>TAT 金属ユニットのセット位置は、TAT 金属印先端と捺印対象物の間が TAT 金属印 9 号の場合は約 34mm TAT 金属印 12 号の場合 は約 32mm TAT 金属印 15 号の場合は約 32mm になるようセットし、捺印テストを実施してください</p> <p>その後捺印結果を参考に M5 ボルトにて高さ調整を行い、問題なく捺印できる位置に微調整してください</p>

8. TAT 金属印の保存方法

注意

長時間(5 時間程度)ご使用にならない場合には、TAT 金属印を本ユニットから取外してアルミ袋に入れ保管してください。

9. インキの補充方法

<インキの補充方法>

インキ補充は必ずアルミ袋に表示してある専用補充インキをご使用ください。

1. インキ補充時期

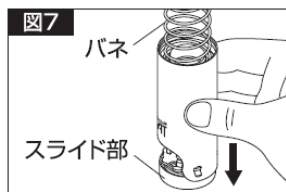
インキパッドが乾燥していない状態で、なつ印した印影が不鮮明になった時やスライド部を伸ばし、立てた状態で30分以上放置しておいた後の初なつ印の印影が極端に薄いようであればインキの補充時期です。

2. インキの補充方法

①キャップを左に回してキャップを取外してください。(図6)

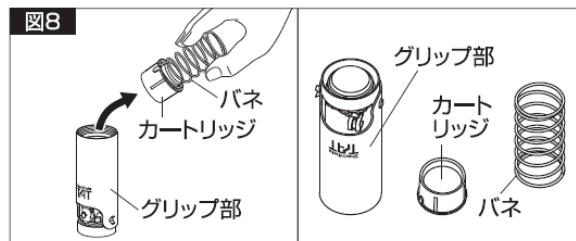


②台に置いてスライド部を奥まで押し込んでください。(図7)

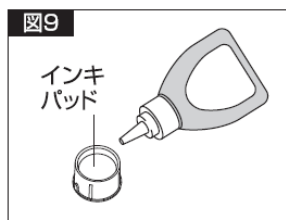


③グリップ部からバネごとカートリッジを取外した後、バネからカートリッジを取外してください。(図8)

※カートリッジを取外す際、バネの紛失には充分にご注意ください。



④取外したカートリッジ内部のインキパッドに1滴ずつ補充してください。その際、インキパッドの表面全体が染まるように補充してください。(図9)



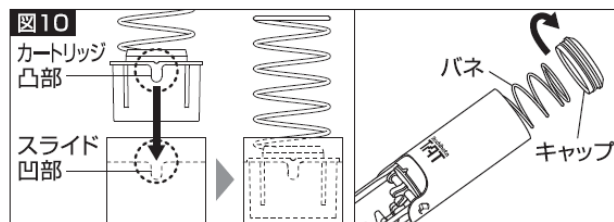
インキ補充量の目安		
丸型9号 6滴	丸型12号 10滴	丸型15号 18滴

※補充量はあくまでも目安のため、使用頻度に合わせて補充量を調節していただき、印影が薄いようであれば再度1~2滴補充してください。

※補充インキは使用后、必ずキャップをしてください。

⑤インキ補充後は、カートリッジにバネをセットしてからカートリッジ凸部にスライド部凹部を合わせて確実に挿入してください。スライド部を伸ばしバネに注意してキャップをはめてください。(図10)

※ご使用前には、必ず不要な紙で試し押しをしてください。



●インキを過剰に補充しますと、インキ漏れや印影の乾燥時間が遅くなります。
※インキを過剰に補充した場合は、吸収性のある布や紙で、インキパッドのインキを適量まで吸い取ってからご使用ください。

●インキ補充は必ずアルミ袋に表示してある別売の専用補充インキをご使用ください。他のインキを補充すると使用できなくなります。

10.カートリッジの交換方法

<カートリッジの交換方法>

1. カートリッジの交換時期

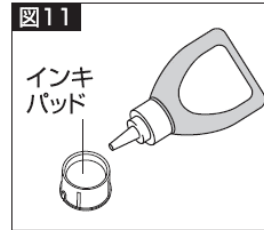
溶剤の塗布やインキ補充で印影が回復しない場合は、カートリッジの交換時期です。

2. 新しいカートリッジへのインキ補充方法

①インキ補充方法の図6～図10をご参照ください。

②新しいカートリッジのインキパッドに1滴ずつ補充してください。その際、インキパッドの表面全体が染まるように補充してください。(図11)

カートリッジ交換時の インキ補充量の目安		
丸型9号	丸型12号	丸型15号
8滴	15滴	23滴



※補充量はあくまでも目安のため、使用頻度に合わせて補充量を調節していただき、印影が薄いようであれば再度1～2滴補充してください。

※補充インキは使用后、必ずキャップをしてください。

※取外したカートリッジは、不要となりますのでお住まいの地域の条例に従って廃棄してください。

③インキ補充後は、カートリッジの向きを確認してグリップ部に挿入し確実にセットしてください。スライド部を伸ばしバネに注意してキャップをはめてください。(図10)

※ご使用前には、必ず不要な紙で試し押しをしてください。

11.白色系インキの注意事項

白色系インキは白色顔料を配合しており、通常の顔料に比べてきわめて比重が大きく沈降しやすいため、お取り扱いの状況によっては印面が目詰まりを起こし、性能が回復しなくなりますので、ご使用の際には必ず以下の点にご注意ください。

① ご使用方法

品質、性能を維持するために、捺印作業をしない日も必ず毎日捨印を10回程度行ってください。

ご使用後はすぐに TAT 金属印をアルミ袋に入れてチャックをしっかりと閉めてから横置きで保管してください。

② インキ補充

補充インキボトルの底に白色顔料が沈殿していますので、キャップをしたままよく振って、インキが均一になるまで混ぜ合わせてからお使いください。

キャップを開ける際はインキが飛び散るおそれがありますので、容器を強く押さえないでください。

インキ補充後はスライド部を確実に伸ばした状態で30分程度立てて静置した後、必ずアルミ袋に入れて、横置きで保管してください。

注意

ご使用回数が少ないにもかかわらず印影が薄く(印影が水っぽい感じ)なってきた場合、印面が目詰まりを起こしています。このような状態になりますとインキ補充を行っても印影は回復せず、修理不可能となります。繰り返しインキ補充されますとインキ漏れを起こして衣服等を汚す恐れがありますのでお止めください。

白色系インキは紙・布・革等浸透しやすい対象物に捺印されますと、印影が判読できませんのでご注意ください。

上記以外のご使用による品質、性能の変化につきましては、当社では責任を負いませんので必ず上記の仕様方法をお守りください。

12. 溶剤の塗布方法

<溶剤の塗布方法>

インキパッドが乾燥し、印影が不鮮明になる場合がありますので、インキパッドを回復させるために、アルミ袋に表示してあるインキに適した専用溶剤をご使用ください。

1. 溶剤の塗布時期

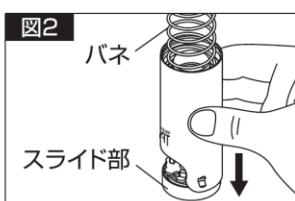
印影が不鮮明になった時や、インキパッドが乾燥して硬化したり、ネバリが生じてなつ押ししにくくなった場合が溶剤の塗布時期です。

2. 溶剤の塗布方法

① キャップを左に回してキャップを取外してください。(図1)

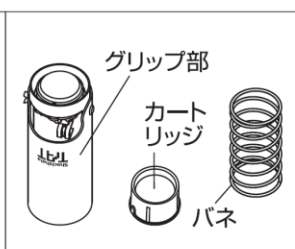


② 台に置いてスライド部を奥まで押し込んでください。(図2)



③ グリップ部からバネごとカートリッジを取外した後、バネからカートリッジを取外してください。(図3)

※カートリッジを取外す際、バネの紛失には充分にご注意ください。



④ 取外したカートリッジ内部のインキパッド全体に溶剤が浸透するよう滴下塗布してください。(図4)

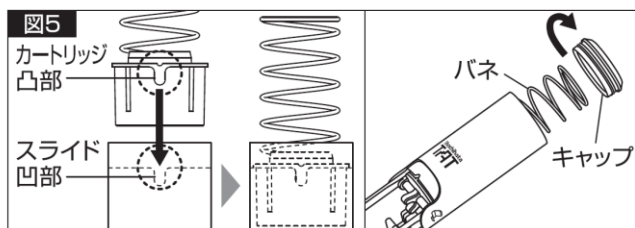
※溶剤は使用後、必ずキャップをしてください。



⑤ 溶剤塗布後は、カートリッジにバネをセットしてからカートリッジ凸部にスライド部凹部を合わせて確実に挿入してください。スライド部を伸ばしバネに注意してキャップをはめてください。(図5)

※10～15分程度立てた状態で放置した後、試しなつ押しを行い、印影が回復したことを確認してからご使用ください。

※印影が回復しない場合は、同じ手順を繰り返してください。



● 溶剤を過剰に塗布した場合は、吸収性のある布や紙で、インキパッドの溶剤を適量まで吸い取ってからご使用ください。

● 溶剤は必ずアルミ袋に表示してある別売の専用溶剤をご使用ください。他の溶剤を塗布すると使用できなくなります。